

2015年
入試用

学校説明会レポート



都立日比谷高等学校

- 日時** 2014年 6月3日(火) 10時30分～12時00分
- 所在地** 千代田区
- 会場** 星陵会館ホール
- 対象** 塾
- 出席者数** 約100名
- 配付資料** 学校案内、入学者選抜の結果、グループ作成問題縮刷版、グループ問題のねらいと結果、大学合格者数資料など

説明会の概要

あいさつ 校長：武内先生 10:30～10:38

- 進学指導重点校の学力検査のグループ問題の差し替え問題について：2014年入試から進学指導重点校が英数国の問題をグループで作成しましたが、本校のみ自校で作成した問題に一部差し替えました。理由は2つあります。1点は、受検生に本校独自のメッセージを伝えたいということです。もう1点は、問題を自校作成しなくなると、これまで培った教科指導力が衰えていくと考えたからです。2015年についても、英数国について1問は差し替えをしていく予定です。
- 学力検査において求める受検生の力について：いったん社会に出ると、何が課題であるかを自分で見つけ、自分で答えを出していかななくてはなりません。本校では将来に備え、たくましい思考力・表現力をもった生徒を育てていきたいと考えています。そのために、記述式の問題のウエイトを大きくしています。

2014年度入学者選抜の結果概要

教務部 10:38～10:53

推薦に基づく選抜

- 選考での配点は、調査書 450点、小論文 150点、集団討論・個人面接 300点、合計 900点満点です。集団討論は、受検生5～6人に対して教員2名です。先生主導で話を振っていきます。この担当の先生が個人面接を行います。
- 2014年受検者平均は以下のとおりです。

*小論文：男子・106.8点、女子・110.5点

*集団討論・個人面接：男子・209.0点、女子・211.1点

- 女子はオール5で定員を超えています、男子は定員を超えないものかなりの生徒がオール5です。小論文について男女の差はほとんどなく、合格者平均はやや高いものとなっています。集団討論・個人面接は同じ担当者によって行い、両方を合わせた形で点数をつけています。合格者平均はかなり高くなります。若干女子の方が高くなっています。
- 最近男女とも3倍台に倍率が落ち着き、本気で推薦合格を狙おうという生徒が増えてきているように思われます。

学力検査に基づく選抜

- 学力検査における評定平均は、毎年ほとんど変動がありません。2014年入試では、素内申が受検者平均で男子39.9、女子42.1でした。男女とも、素内申の合計で40より少し高いと合格する割合が多くなっています。
- 2014年の3教科の受検者平均は以下のとおりです。
 - *国語：男子・58.4点、女子・59.1点
 - *数学：男子・47.3点、女子・40.5点
 - *英語：男子・51.6点、女子・52.2点

- 5教科合計の平均点は、男子320.6点、女子309.1点でした。国語・数学・英語の3教科合計の平均点は、男子157.2点、女子151.8点でした。
- 特別選考で合否を決めた場合とそうでない場合でどれだけ違いが出るかということを毎年調査していますが、2014年入試では特別選考での逆転による合格者は若干少なめでした。
- 試験当日の欠席者や辞退者がけっこういますので、受検生には実質倍率を伝えてほしいと思います。実質倍率が2倍くらいだと、受検者平均が合否の境目になります。

2014年度自校作成入試問題ねらいと結果

10:53~11:42

《国語》

- 問題のグループ作成に積極的だったわけではないので、独自問題の差し替えをするのは正しい方向だと思いました。論説的な文章を差し替えとしましたが、（共通問題が直前の業者模擬テストに使用されてしまったので）実際は他校にも提供した形となりました。グループ作成の問題と比べ、難易度が高かったという印象です。漢字の読み・書きで正答できないのは、その言葉の使い方を知らないことによるものなので、常に辞書を引いて覚えることが必要です。
- 250字で表現力をみる記述問題では、2割強の受検生が解答できていませんでした。部

分点がありますので、がんばって取り組んでほしいと思います。誤字・脱字や原稿用紙の使い方の誤りなどは減点の対象になるので、注意してほしいです。

《数学》

- 大問2が差し替え問題ですが、グループ共通問題と比べると難しくなっていました。計算問題は、すばやく正確に解くことが要求されます。図形の問題では、自分で図を書いて考えることが大切です。証明問題や記述問題を避けるのではなく、しっかり考えて解くように努力してもらいたいと思います。日頃から論理的に筋道を立てて記述できるように訓練しておく必要があります。

《英語》

- 差し替え問題は、対話文（難しい内容を会話形式にしたもの）でした。
- 長文は例年 1,000 語程度を出題しています。それは、ある程度長い文章を読む力が必要だと考えているからです。
- 学校としては入試問題で、中学で学ぶべきことをどれだけ習得しているかをみており、次の 6 点を重視しています。①記述問題についてあきらめず答えを書くこと②過去問を丸暗記せず、自分の英語力を駆使して答えること③ネイティブスピーカーにわかるような表現をすること④中学校で学んだ単語を使って表現すること⑤記述問題で、スペルが不確かな単語は使用せず、よく知っている易しい単語に置きかえて答えること⑥日頃から英語をいっぱい使って、書くことに慣れていることです。

学校概要・大学合格実績・SSH

進路指導部主任：臼田先生 11:42~12:00

- 新校舎は 7 月 11 日に竣工の予定です。8 月に引っ越しを済ませ、9 月から使用を開始します。新校舎は、他展開の授業ができるように部屋が多いのが特徴です。
- 本校は生徒に多様性があるのが特徴です。いろいろな学校から集まってきており、最近では転勤に伴って入学してくる生徒が増え、クラスに 3~4 名は帰国生が在籍しています。また、本校には文化の厚みがあります。文化祭ではクラスごとに演劇や合唱に熱心に取り組みます。
- 2014 年春の進学率は 54% で、難関大志向です。東大は 37 人（そのうち現役は 20 人）、国公立医学部は 17 人（そのうち現役は 9 人）の合格を出しました。
- 海外派遣研修では、ハワイ島・MIT・ハーバード大を訪れます。SSH のプログラムで、選抜された 12 名が参加します。
- カリキュラムは、全科目履修型です。3 年間、切磋琢磨して人間的に成長していきます。行事は 3 年生まで全員参加です。生徒にはベストな環境を提供し、知的好奇心に対応していきます。

説明会の雰囲気・印象

- 都立トップ校の説明会ということで、初めのうちは緊張感が漂っていましたが、日比谷の充実した授業がうかがえるような先生方の話しぶりに、つい聞き入ってしまいました。ていねいに説明されたことに好感がもてました。

学校周辺の環境

- 都会の真ん中にありながら、周囲は閑静な環境で、校内は高台の緑の多いところです。

交通

- メトロ丸ノ内・銀座線 赤坂見附駅から徒歩5分
- メトロ有楽町・半蔵門線 永田町駅から徒歩5分
- メトロ銀座・南北線 溜池山王駅から徒歩5分
- メトロ千代田線 国会議事堂前駅から徒歩5分